2026年11月13日

各　　位

会社名　　株式会社ＫＶＫ
代表者名　　代表取締役社長　　末松　正幸
（コード番号　6484）
問い合わせ先　　取締役経営管理本部長兼企画部長　　北川　喜一
（TEL　0574-55-0006）

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年5月15日に公表いたしました、2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1．2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,300	1,300	1,550	1,100	137.03
実　績　値（B）	15,861	699	1,261	816	101.62
増　減　額（B-A）	561	△600	△288	△283	
増　減　率（%）	3.7	△46.2	△18.6	△25.8	
(ご参考)前期実績 2026年3月期第2四半期（中間期）	15,114	1,378	1,733	1,190	148.55

2．差異の理由

2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、得意先への受注活動に注力した結果、各商流において、当社の主力製品であるサーモスタット式水栓およびシングルレバー式水栓の受注が増加しました。また、8月に製品価格を改定したこともあり、売上高は中間期として過去最高を更新しました。

利益面につきましては、主要原材料である銅の国内相対取引における建値が高止まりしていることに加え、物価上昇による仕入コストの増加や為替相場の円安進行の影響を受け、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも予想を下回る結果となりました。

一方、2027年3月期通期の業績予想につきましては、本年8月に実施した価格改定の効果が本格的に寄与し、利益面での改善が見込まれることから、2026年5月15日に発表した業績予想から変更はありません。

以　上